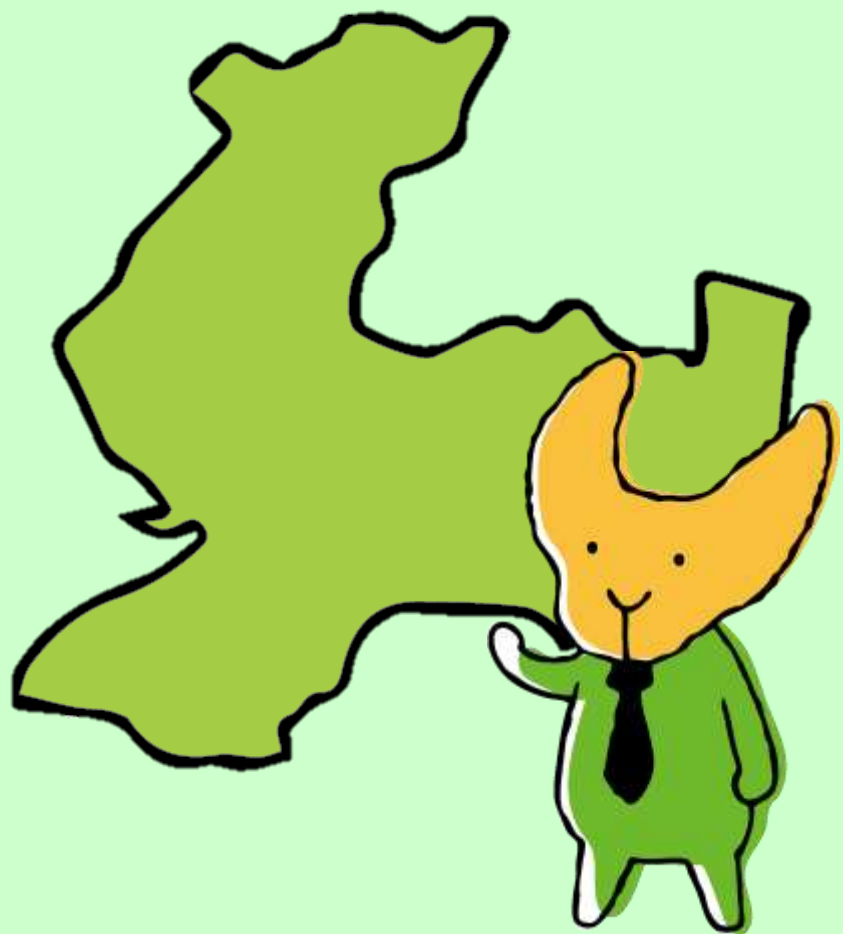


第1章

由布市について



由布市はどんなまち？

ゆふし 由布市について

ゆふし おおいたけん ちゅうおう いち
 由布市は、大分県のほぼ中央に位置して
 います。面積は 319.32km²です。由布
 岳 黒岳 という大きな 2 つの山に挟まれ
 ています。

ゆふだけ ゆふいん べっふし あいだ
 由布岳は湯布院と別府市の間にある
 標高 1,584m の山で、「豊後富士」とも呼
 ばれます。

くろだけ しょうない たけたしくじゅうまち あいだ やま ゆふだけ
 黒岳は、庄内と竹田市久住町の間にあ
 る 1,587m の山です。由布岳も、
 黒岳も「阿蘇くじゅう国立公園」に指
 定されています。

ゆふし ま なか なが おおいたがわ ゆふいんぼんち げんりゅう しょうないちいき
 由布市の真ん中を流れる大分川は、由布院盆地を源流に、庄内地域、
 挾間地域を通り、大分市を流れて海に出ます。長さ 55km の一級河川
 です。



●調べてみよう、やってみよう！●



1	自分の住んでいる場所を地図で調べてみよう。	
2	由布岳の登山口にいてみよう。	

ゆふし ししやう 由布市の市章

かたち
形は、「YUFU」の「Y」をイメージし、
のびのびと生きる市民の様子を表しています。

いろ
色は、オレンジ色＝太陽、緑色＝大地を表し、
自然に恵まれた由布市をイメージしています。



ゆーふー

「ゆーふー」はゆふしのゆるキャラです。
ちょっとメタボ気味の謎の生き物です。

ゆふしやくしょせんてんぶ きんむ ゆふし
由布市役所宣伝部に勤務し、由布市をみんなに知っ
てもらおう活動とみんなが住みやすいまちを目指して
まいにちがんば
毎日頑張っています。

あたま かたち ゆふし ちけい
頭の形は由布市の地形、
くち かたち
口の形は「YUFU」のYの字を表しています。

へいせい
平成23（2011）年8月に一般公募により
う
生まれました。



ここからは、ゆーふーが
時々登場するよ！
何種類のポーズがあるか
数えてみよう！

由布市の花、木、鳥

ゆふし はな 由布市の花～コスモス



「秩序と調和をもつ宇宙」という
意味をもち、すでに由布市内で広く
植え育てられており、親しまれてい
ます。

ゆふし き 由布市の木～アラカシ

由布市の里山に自生するブナ科の
常緑樹です。ねばり強く、強固で、
森を回復させる力を持っています。



ゆふし とり 由布市の鳥～ウグイス



「ホーホケキョ」という鳴き声と品の
良さで知られるウグイスは、由布市の
自然の中でも多く生息しています。

市民憲章

ゆふし しみんけんしょう
由布市では、市民憲章として
「四つの誓い」を掲げています。

けんしょう
「憲章」とは、
“とても大事な取り決め”という
いみ
意味があります。

由布市民憲章 — みんなの誓い —

私たち由布市民は、
みんなの幸せのために、
四つの誓いを果たすことに努めましょう。

(感謝と使命)

一、豊かな自然を命の源として感謝し
次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

(融和と郷土愛)

一、郷土の歴史・文化・慣習を大切にし
緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

(平等と仁愛)

一、一人ひとりの人権を尊重し
子どもやお年寄りを大切にする
あたたかいまちをつくります

(協働と希望)

一、地域づくり・まちづくりにみんなで参加し
健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります

かんしゃ しめい
(感謝と使命)

一、豊かな自然を命の源として感謝し
次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

ゆうwa きやうどあい
(融和と郷土愛)

一、郷土の歴史・文化・慣習を大切にし
緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

ひやうどう じんあい
(平等と仁愛)

一、一人ひとりの人権を尊重し
子どもやお年寄りを大切にするあたたかいまちを
つくります

きやうどう きぼう
(協働と希望)

一、地域づくり・まちづくりにみんなで参加し
健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります

由布市非核・平和都市宣言

ゆふし かくへいき へいわ せかい じつげん む ひかく へいわとし せんげん
由布市では、核兵器のない平和な世界の実現に向け、「非核・平和都市」の宣言
おこな
を行っています。

わたし じんるい へいわ い けんり も へいわ じんるい
私たち人類は平和に生きる権利を持っており、平和は人類
きょうつう ねが げんじつ かくかくさん みるぞく しゅうきょう
共通の願いであります。しかし、現実には核拡散や民族、宗教、
しげんぶんそう ぶりょくこうし こうい ひんぱん お
資源紛争などによる武力行使やテロ行為が頻繁に起きており、
せかいへいわ しんこく きょうい
世界平和に深刻な脅威をもたらしています。

くに か こ ひろしま ながさき せかいゆいいつ かくひばく たいけん
わが国は過去に広島・長崎において世界唯一の核被爆を体験
じんるい そんぼう きぐ かく きょうい ひさん わす
しました。人類の存亡さえ危惧される核の脅威と悲惨さを忘
ぜんせかい うった れきしてきせきむ お
れることなく、全世界に訴えていく歴史的責務を負っていま
す。

ゆふしみん にほんこくけんぽう かか こうきゅうへいわ りねん
由布市民は、日本国憲法に掲げられている恒久平和の理念を
こころ つよ きざ はんせんへいわ かくへいき ぜんめんとっばい めざ
心に強く刻み、反戦平和、核兵器の全面撤廃を目指していき
さら ちきゅうじょう ぶんそう ひ
ます。更に、この地球上にあらゆる紛争がなくなる日まで、
へいわ もと ゆ けつゐ も つづ ちか
平和を求めていく揺るがぬ決意を持ち続けることを誓い、こ
ひかく へいわとし せんげん
こに非核・平和都市を宣言します。



由布市の 10 年先をみつめる

「まちづくりの計画（由布市総合計画）」

由布市では、平成28(2016)年度から平成37(2025)年度までの10年間のまちづくりの計画をつくりました。それが「第二次由布市総合計画」です。由布市に住む人が少なくなっていくことが予想されるなか、どのようなまちを目指していけばいいかを定めています。

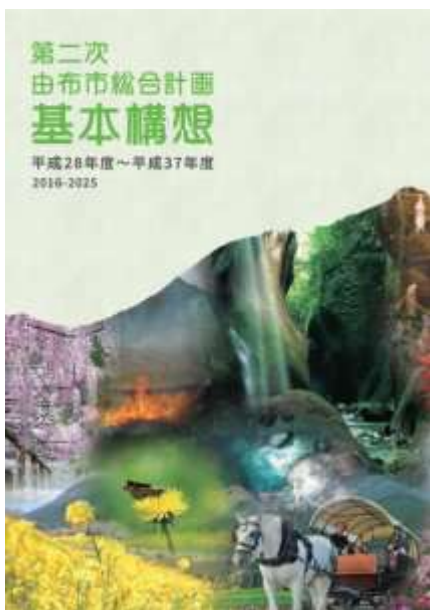
まちづくりの 目標

地域自治を大切にした
住み良さ日本一のまち・由布市

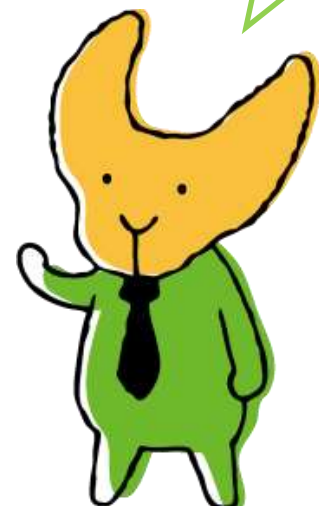
本総合計画に掲げる施策の取り組み等により、
「平成37年(2025年)の将来計画人口**32,000人**」
を目指します。

まちづくりの 基本理念

「連携」と「協働」 「創造」と「循環」



総合計画は
由布市の
ホームページで
みることが
できるよ。



由布市の地域（挾間、庄内、湯布院）

由布市は平成17(2005)年10月1日に、挾間町・庄内町・湯布院町の3つの町が合併して誕生しました。

挾間地域

挾間地域は、由布市の東側、大分川の下流に位置する地域です。隣の大分市とも距離が近いため、大分市に仕事に行く人も多く暮らしています。そのため、由布市のなかでは一番人口が多く、今も住宅地やアパートが増え、子どもたちもたくさん住んでいる地域です。そのため、挾間地域は、大分市のベッドタウンや衛星都市とも呼ばれることがあります。

住みやすい環境がととのっている挾間地域ですが、北西部の別府市のほうへ丘が続く一帯には、日本棚田100選に選ばれた「由布川奥詰の棚田」や「由布川峡谷」など、豊かな自然がたくさん残っています。



庄内地域

庄内地域は、由布市の中央、大分川の中流に位置する地域です。

南西部は、「阿蘇くじゅう国立公園」に含まれる黒岳の裾野が広がっています。黒岳のふもとには名水100選に選ばれた男池湧水や、天然の炭酸水が湧き出しているところもあり、全国的に注目を浴びています。

伝統芸能として、庄内神楽が盛んで、毎年のお祭りには、市内や市外からたくさんの方が楽しみにやってきます。

由布市の中でも、農業を中心とした地域ですが、過疎化・高齢化が進んでおり、次の担い手を育てていくことが課題です。



東経 131 度 25 分 54 秒
北緯 33 度 12 分 9 秒の
大分県のど真ん中
「おおいたのへキ」は
庄内にあるよ！



湯布院地域

湯布院地域は、由布市の西側、大分川の源がある地域です。北に火山活動が活発な伽藍岳（標高1,045m）、豊後富士と呼ばれる由布岳（標高1,584m）があります。由布岳のふもとに、由布院盆地が広がり、由布院駅前から金鱗湖までの一帯は、湯布院観光の中心地となっています。

由布院温泉、湯平温泉は、国民保養温泉地として登録されており、温泉を中心とした観光が盛んです。湯布院を盛り上げようと地域の人々によって始められたお祭り「湯布院映画祭」や「牛喰い絶叫大会」などユニークなお祭りが、一年を通して、今も脈々と受け継がれています。



おまけのおはなし

～ “湯布院” と “由布院”、漢字が 2 つあるのはなぜ？

由布市になる前の「湯布院町」は、昭和 30（1955）年に「由布院町」と「湯平村」が合併して誕生しました。旧「由布院町」は、主に由布院盆地内を中心とした一帯のことを言います。そこで湯平村と合併したことから、「湯平」の「湯」と「由布院」の「布院」とを合わせて、「湯布院」となったのです。観光地としては、「湯布院」の名前が広く知られていますが、JR 久大本線の駅名は「由布院駅」となっているなど、訪れた人は疑問に思うかもしれません。由布院盆地内は「由」、湯平も含む場合は「湯」と考えてみるといいですね。

ほうげん 方言

大分県は、瀬戸内海に面している場所であるため、昔から各地の交易が多く、アクセントや文法の両面で共通語に近いとされています。県内の方言を大別すると、東部方言A（国東半島）、北部方言、西部方言、南部方言、東部方言B（県南部）¹の5地域となり、それぞれ方言に大きな変化がみられます。しかし、現在は方言を話す人が急速に減り、地域の独特の言葉が消えています。

●音読してみよう！●

方言こぼればなし～「いのこまつりの行事」

11月のイノシシの日の晩、くろうなっちからそん年ん農作物の豊作を祈ると、モグラ打ちをするため、ワラで作ったイノコヅチを持ち、子どもたちが大人数ち家をまわり、「あるかえ、ねえかえ」ちゅうち返事のねえ所らあ、ぬかしち、家の人が出ちきたら「今夜のイノコ祝わんものは、鬼生め、蛇生め、つのはえた子を生め」ち言うち外ん土ちうパタンパタンと打つ、打ちちもろうた家んしは、子どもたちにお菓子ゆくばっち、「祝いましょう、祝いましょうー」ち又打ち次の家に行きよった。打ったイノコヅチは、なり木（柿の木等）に下げておくと、よう実るち言いよった。

『100歳イリエおばあちゃんの知恵袋』10ページより



●図書館に行ってみよう！●



『100歳イリエおばあちゃんの知恵袋』

由布市立図書館には、100歳の「イリエおばあちゃん」に聞いて作った図書があるよ。たくさんの方言や昔話、おばあちゃんが作っていた料理のレシピがのっているよ！図書館にいて、昔の由布市のくらしをのぞいてみよう。

¹ 松田美香「要地方言の活用体系記述 大分県由布市庄内町方言」より
<http://hougen.sakura.ne.jp/shuppan/2017/3-15.pdf>

大分で1番目！“図書通帳”ができたよ！

図書館にある機械にこの通帳を通すと、自分が読んだ本のタイトルや貸出日を記録することができます。

由布市立図書館が大分で1番目（九州で2番目）にはじめました。通帳のカラフルな絵は大分出身の画家である

ザ・キャビンカンパニーさんによって描かれています。自分が読んだ

本の記録が残ることで読書の楽しみが増えます。ぜひ利用してみてください。



うらもかわいいよ！
ザ・キャビンカンパニー
さんは、由布市の小学校
だった場所をアトリエ
にしているんだ。



由布市の地名はふしぎがいっぱい

地域の名前は、人がそこに住むなかで、うまれてきた名前です。そんななかで、由布市にある地名でなかなかよめないものを選んでみました。

さて、知っている名前があるかな？



地 域	地 名 等	よみがな
挾 間	来鉢	くばち
	朴木	ほおのき
	東院	とい
	海老毛	えびけ
	鬼瀬	おにがせ

地 域	地 名 等	よみがな
庄 内	宇南水足	うなめみったり
	上重	あげじゅう
	櫟木	いちぎ
	蛇口	しゃくち
	透内	すきうち

地 域	地 名 等	よみがな
湯 布 院	槐木	にがき
	温湯	ぬるゆ
	乙丸	おとまる
	鹿出	ろくで
	男濃能松	おののまつ